

令和4年4月18日

交通事故概況

令和4年3月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(3月中計上数(確定数))

1 令和4年3月中の交通事故発生状況

区分\内容	3月中		3月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	759	9	2,174	-3
死者数(人)	2	-6	17	-7
傷者数(人)	889	-16	2,559	-7

[過去10年、3月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年
											10か年	5か年	
3月中死者	8	13	11	10	8	13	6	10	9	8	10	9	2
3月末死者	31	29	30	26	29	23	33	19	26	24	27	25	17
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—

都道府県別(3月中)

順位	1	2	4	5	32
都道府県名	大阪	愛知	兵庫	埼玉	千葉
死者数	16	13	11	10	2

都道府県別(3月末)

順位	1	2	3	5	9
都道府県名	愛知	大阪	神奈川	埼玉	千葉
死者数	34	29	28	27	17

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 3月中の死亡事故(死者2人)

- 事故類型別：正面衝突、車両単独が各々1人(50.0%)
- 道路別：国道、市町村道が各々1人(50.0%)
- 地形・道路形状別：非市街地直線、非市街地カーブが各々1人(50.0%)
- 発生時間別：10～12時、22～24時が各々1人(50.0%)
- 第一当事者年齢別：40歳代運転者、60～64歳代運転者が各々1人(50.0%)
- 第一当事者違反別：操作不適、前方不注意が各々1人(50.0%)
- 死者年齢別：40歳代、60～64歳の死者が各々1人(50.0%)

(2) 3月末の死亡事故(死者17人)

- 事故類型別：
 - ・ 正面衝突が5人29.4% (うち操作不適が4人80.0%)
 - ・ 人対車両が3人17.6% (うち歩行者妨害、安全速度、安全運転その他が各々1人33.3%)
 - ・ 出会い頭が3人17.6% (うち信号無視、一時不停止、その他が各々1人33.3%)
 - ・ 車両単独が3人17.6% (うち最高速度、操作不適、安全運転その他が各々1人33.3%)
- 道路別：
 - ・ 国道が10人58.8% (うち正面衝突が5人50.0%)
 - ・ 市町村道が3人17.6% (うち車両単独が2人66.7%)
- 地形・道路別：
 - ・ 非市街地直線が7人41.2% (うち正面衝突が4人57.1%)
 - ・ 非市街地交差点が3人17.6% (うち出会い頭が2人66.7%)
 - ・ 市街地直線が3人17.6% (追突、出会い頭、踏切が各々1人33.3%)
- 発生時間別：
 - ・ 10～12時が5人29.4% (うち正面衝突が3人60.0%)
 - ・ 6～8時、8～10時、14～16時が各々2人11.8%
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 高齢運転者による死者が7人41.2% (うち人対車両、正面衝突が各々2人28.6%)
 - ・ 40歳代運転者による死者が4人23.5% (うち車両単独が2人50.0%)
- 第一当事者違反別：
 - ・ 操作不適が5人29.4% (うち正面衝突が4人80.0%)
 - ・ 前方不注意が3人17.6%(自転車対車、正面衝突、追突が各々1人33.3%)
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が9人52.9% (うち人対車両が3人33.3%)
 - ・ 40歳代の死者が5人29.4% (うち車両単独が2人40.0%)
- シートベルト着用者：

自動車乗車中の死者11人中、シートベルト非着用者は4人(36.4%)であり、このうち2人(運転席に乗車)はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

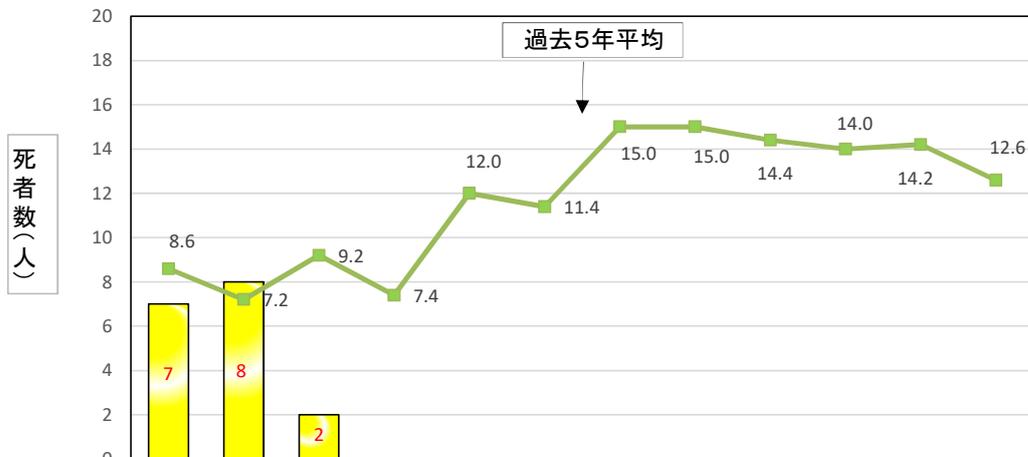
(3) 方面別発生状況

3月中の死者数は札幌方面が1人(50.0%)、函館方面が1人(50.0%)となっている。
 3月末の死者数は札幌方面が11人(64.7%)、函館方面、旭川方面が各々3人(17.6%)、となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比		死者数	前年比		傷者数	前年比	
		発生件数	前年比		死者数	前年比		傷者数	前年比
3月中	全道	759	9	2	-6	889	-16		
	札幌方面	591	40	1	-1	680	12		
	函館方面	41	-5	1		52	-5		
	旭川方面	56	-18		-1	68	-23		
	釧路方面	51	-5		-2	59	-3		
	北見方面	20	-3		-2	30	3		
3月末	全道	2,174	-3	17	-7	2,559	-7		
	札幌方面	1,643	96	11	-1	1,918	95		
	函館方面	128	-23	3	-1	157	-20		
	旭川方面	186	-46	3	2	233	-57		
	釧路方面	151	-42		-5	168	-45		
	北見方面	66	12		-2	83	20		

(4) 月別発生状況の推移

3月中の死者数は2人で過去5年平均7.2人を大きく下回っている。
 3月末の死者数は17人で過去5年平均25.0を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	7	8	2										17
年間累計	7	15	17										
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	141.0

(5) 都道府県別死者

3月中は大阪府が16人で最も多く、次いで愛知県、兵庫県が各々13人で北海道は2人で32番目となっている。
 3月末は愛知県が34人で最も多く、大阪府が29人、埼玉県、神奈川県が28人で北海道は9番目で17人となっている。

区分\都道府県	大阪	愛知	兵庫	埼玉	千葉	岡山	神奈川	福岡	東京	岐阜	全国
3月中死者数	16	13	13	11	10	8	7	7	6	6	203
ワースト順位	1	2	2	4	5	6	7	7	9	9	-
前年比	2	9	3	2	1	3	-4	1	-7	-1	-7
増減率(%)	14.3	225.0	30.0	22.2	11.1	60.0	-36.4	16.7	-53.8	-14.3	-3.3

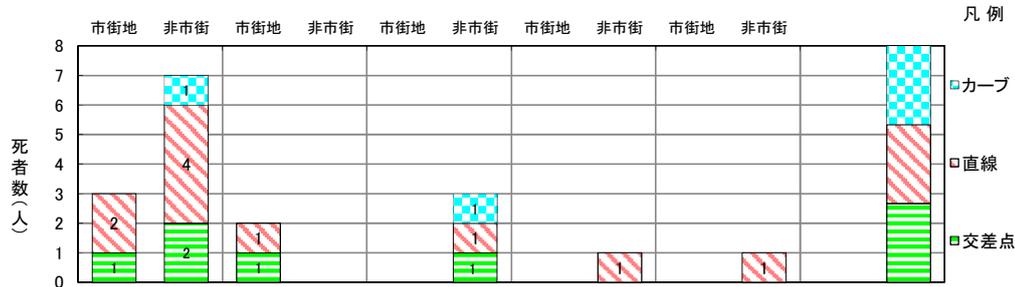
区分\都道府県	愛知	大阪	神奈川	埼玉	千葉	東京	兵庫	岡山	福岡	北海道	全国
3月末死者数	34	29	28	28	27	26	24	20	17	17	562
ワースト順位	1	2	3	3	5	6	7	8	9	9	-
前年比	13	-6	-1	-5	-6	-9	-2	8	1	-7	-53
増減率(%)	61.9	-17.1	-3.4	-15.2	-18.2	-25.7	-7.7	66.7	6.3	-29.2	-8.6

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が10人(58.8%)で最も多く、次いで市町村道が3人(17.6%)となっている。

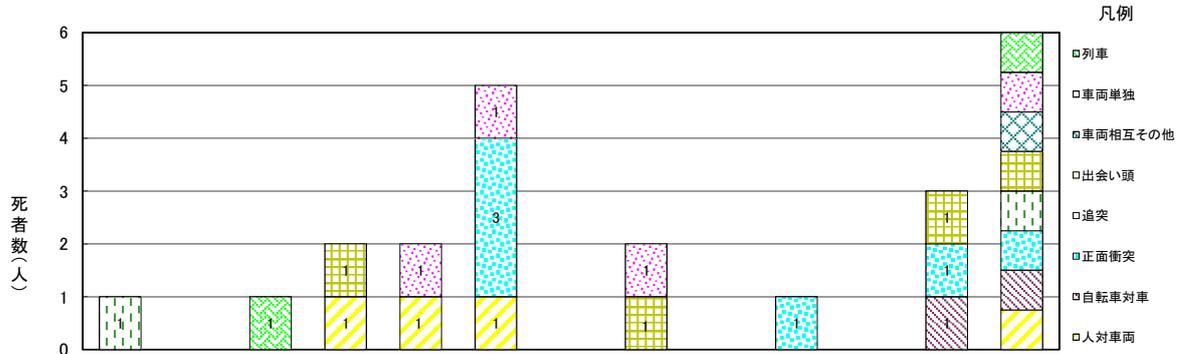
- ・ 国道は非市街地直線が4人(40.0%)、市街地直線、非市街地交差点が各々2人(20.0%)
- ・ 市町村道は非市街地交差点、非市街地直線、非市街地カーブが各々1人(33.3%)となっている。



区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	10	2	3	1	1	17
構成率(%)	58.8	11.8	17.6	5.9	5.9	100.0
過去5年構成率	47.1	19.3	21.8	5.9	5.9	100.0

(2) 時間別

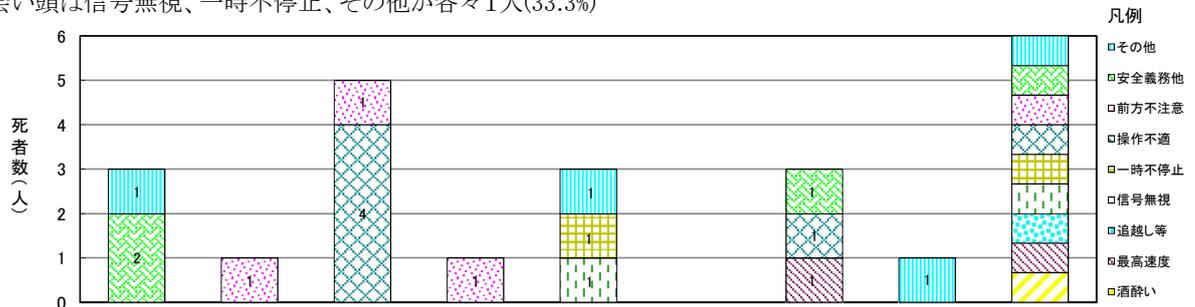
- ・ 10～12時が5人(29.4%)で最も多く、次いで6～8時、8～10時、14～16時が各々2人(11.8%)となっている。
- ・ 10～12時は正面衝突が3人(60.0%)、人対車両、車両単独が各々1人(20.0%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	1	0	1	2	2	5	0	2	0	1	0	3	17
構成率(%)	5.9	0	5.9	11.8	11.8	29.4	0	11.8	0	5.9	0	17.6	100.0
過去5年構成率	2.5	4.2	4.2	6.7	15.1	12.6	13.4	14.3	10.1	10.1	2.5	4.2	100.0

(3) 事故類型別

- ・ 正面衝突が5人(29.4%)、人対車両、出会い頭が各々3人(17.6%)となっている。
- ・ 正面衝突は、操作不適が4人(80.0%)
- ・ 人対車両は、安全義務他が2人(66.7%)
- ・ 出会い頭は信号無視、一時不停止、その他が各々1人(33.3%)

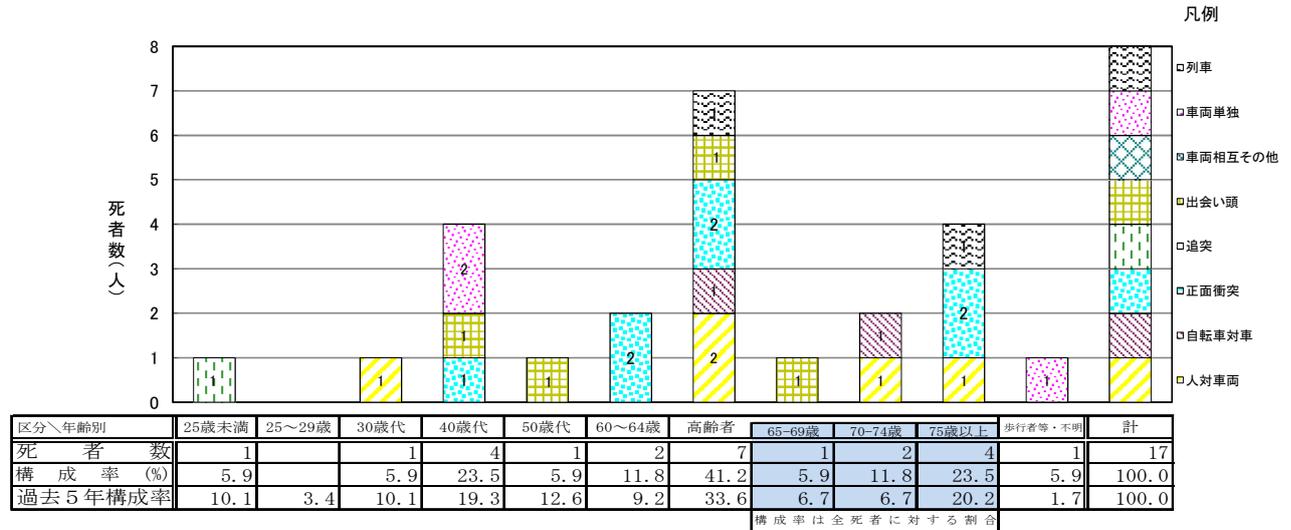


区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	3	1	5	1	3	0	3	1	17
構成率(%)	17.6	5.9	29.4	5.9	17.6	0	17.6	5.9	100.0
過去5年構成率	28.6	1.7	31.1	2.5	10.9	5.0	19.3	0.8	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別

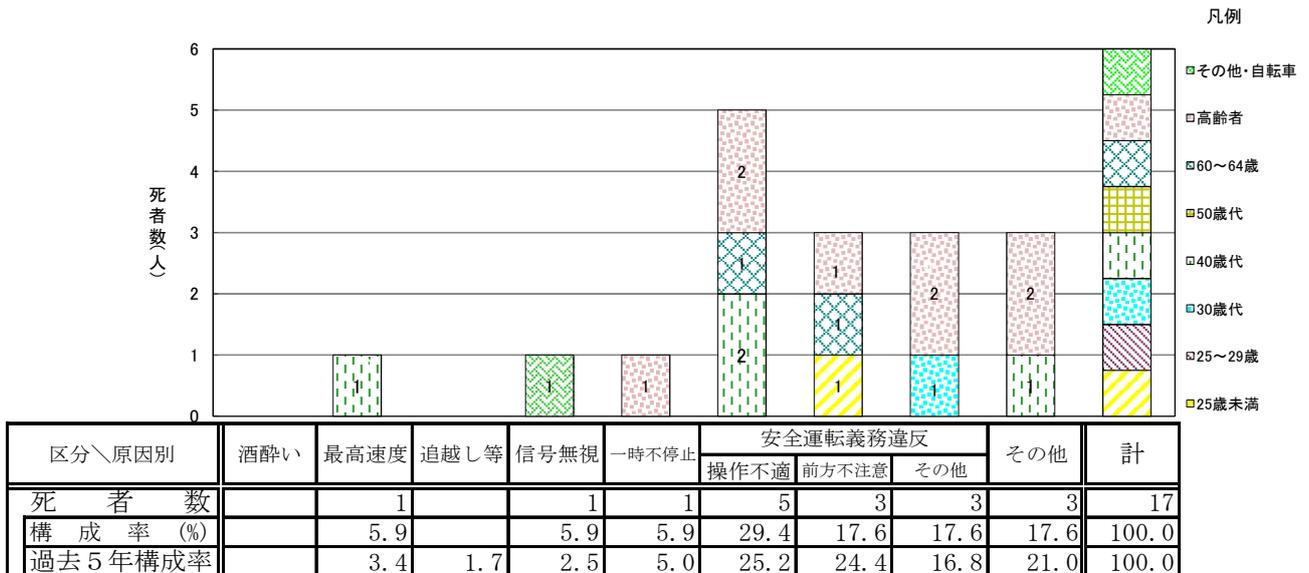
高齢者の運転者によるものが7人(41.2%)、40歳代の運転者が4人(23.5%)となっている。

- ・ 高齢者運転者は、人対車両、正面衝突が各々2人(28.6%)
- ・ 40歳代運転者は、車両単独が2人(50.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

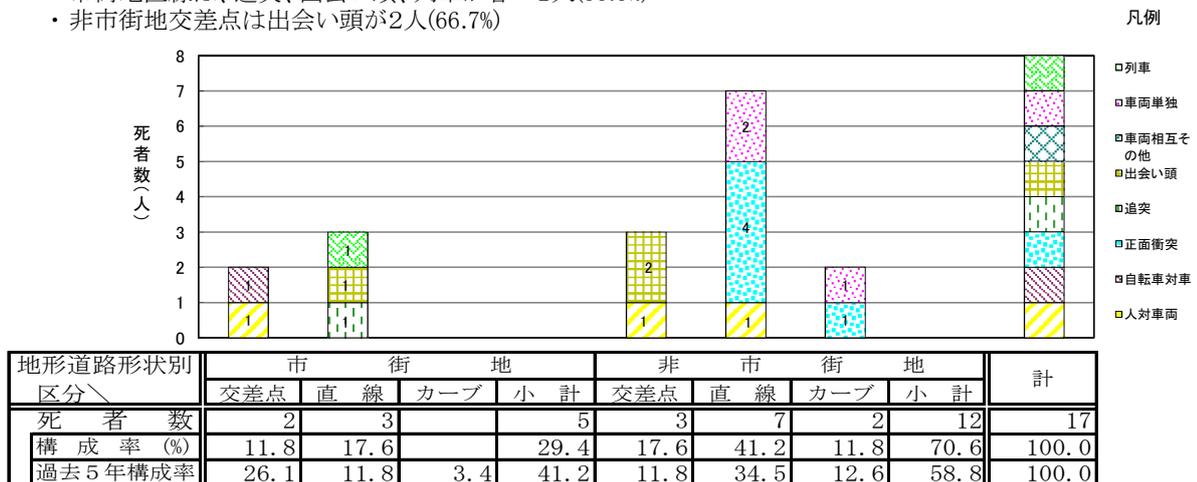
- ・ 操作不適によるものが5人(29.4%)、前方不注意、安全運転義務その他、その他が各々3人(17.6%)
- ・ 操作不適は、40歳代運転者、高齢運転者が各々2人(40.0%)



(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が7人(41.2%)で、市街地直線、非市街地交差点が各々3人(17.6%)。

- ・ 非市街地直線は、正面衝突が4人(57.1%)
- ・ 市街地直線は、追突、出会い頭、列車が各々1人(33.3%)
- ・ 非市街地交差点は出会い頭が2人(66.7%)

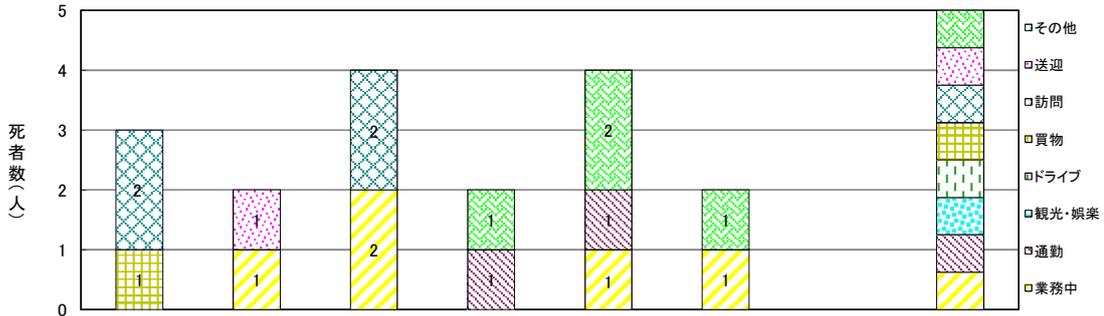


(7) 曜日別

火曜日、木曜日が各々4人(23.5%)となっている。

- ・ 火曜日は業務中、訪問目的が各々2人(50.0%)
- ・ 木曜日は、私用その他が2人(50.0%)

凡例



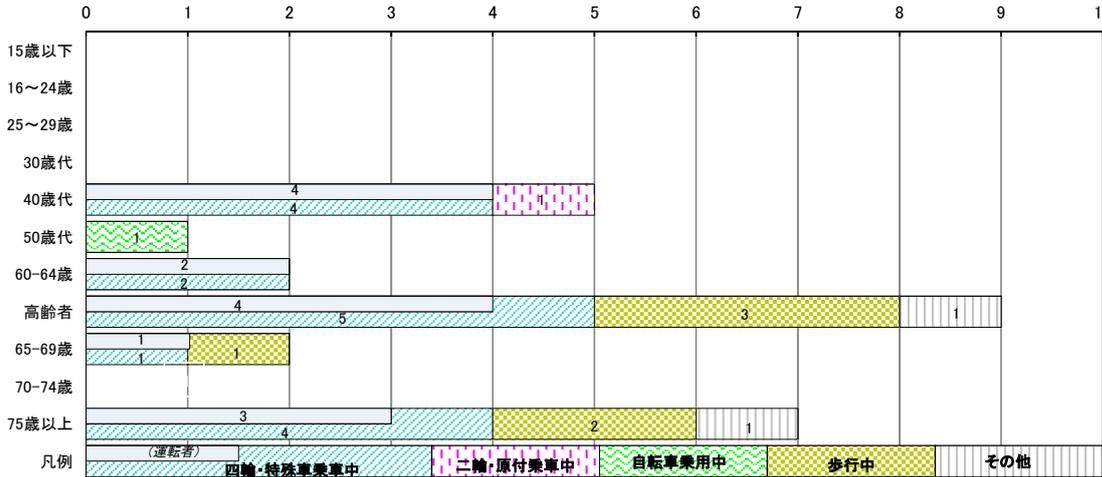
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	3	2	4	2	4	2		17
構成率(%)	17.6	11.8	23.5	11.8	23.5	11.8		100.0
過去5年構成率	10.9	10.9	15.1	12.6	15.1	19.3	16.0	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が11人(64.7%)で最も多く、歩行中が3人(17.6%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢運転者が5人(45.5%)、40歳代運転者が4人(36.4%)
- ・ 歩行中は高齢者が3人(100.0%)
- ・ 年齢層別では、高齢者が9人(52.9%)で、うち75歳以上が7人(77.8%)となっている。

死者数(人)



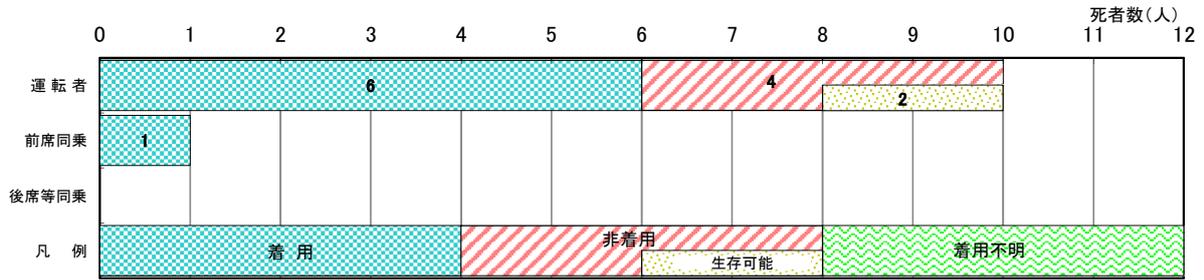
状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	計	構 成 率	5年構成率
16~24歳	死者数								5.9
25~29歳	死者数								1.7
30歳代	死者数								4.2
40歳代	死者数	4	1				5	29.4	10.1
50歳代	死者数			1			1	5.9	11.8
60~64歳	死者数	2					2	11.8	5.9
高齢者	死者数	5			3	1	9	52.9	59.7
65~69歳	死者数	1			1		2	11.8	12.6
70~74歳	死者数								7.6
75歳以上	死者数	4			2	1	7	41.2	39.5
計	死者数	11	1	1	3	1	17	100.0	
	構成率	64.7	5.9	5.9	17.6	5.9	100.0	—	—
	過去5年構成率	65.5	1.7	1.7	29.4	1.7	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者11人中、シートベルト非着用者は4人(36.4%)となっている。
非着用者2人(運転席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	
令和4年	11	7	6	1	4	4	2	
構成率(%)	100.0	63.6	85.7	14.3	36.4	100.0	50.0	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、40歳代が2人(50.0%)、60～65歳、高齢者が各々1人(25.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ベルト着用				2		1	4	1		3		7
構成率(%)				28.6		14.3	57.1	14.3		42.9		100.0
ベルト非着用				2		1	1			1		4
構成率(%)				50.0		25.0	25.0			25.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者4人の人身損傷加害部位をみると、車外放出、車外他、座席、その他が各々1人となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用	1		1					1	2	2		7
構成率(%)	14.3		14.3					14.3	28.6	28.6		100.0
ベルト非着用	1	1							1		1	4
構成率(%)	25.0	25.0							25.0		25.0	100.0
運転者	1	1							1		1	4
構成率(%)	25.0	25.0							25.0		25.0	100.0
同乗者												
構成率(%)												

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和2年度及び3年度(ここでは令和2年11月～令和4年3月)の発生は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和3年度	死亡事故	15	10	7	8	2	42
	冬型事故	1	6	4	1	1	13
	スリップ	1	5	4			11
	視界不良				1		1
	わだち		1				1
	その他						
令和2年度	死亡事故	11	18	8	8	8	53
	冬型事故	1	5	2	1	1	10
	スリップ	1	5	1			8
	視界不良				1	1	2
	わだち						
	その他						